



一人ひとりの子どもの育ちを
保障するために
～うーたん保育園の実践～



2024年7月25日（木）

うーたん保育園 佐藤 愛美

うーたん保育園

☆ 茅ヶ崎市

☆ 2012年オープン、複合施設A.UNという建物の中にあり、

- ・ 児童発達支援センター
- ・ 生活介護事業所：おーらい
- ・ 就労支援事業：A.UNカフェ
- ・ 特別養護老人ホーム：ゆるり（100床）

☆ 定員72名（現在73名入所）



今までの障害児受け入れ状況と

支援内容について



病名	配慮・支援方法など
ダウン症	職員配置・食形態配慮
自閉症	職員配置・食形態配慮
ウェスト症候群・難治性てんかん	医療的ケア（胃瘻・痰吸引など） ・発作対応・座位保持椅子
筋萎縮症	歩行器・バギー使用
低酸素脳症	医療的ケア（胃瘻・痰吸引など） ・座位保持椅子
脳性マヒ・脳室周囲白質軟化症（PVL）	歩行器・バギー使用・食形態配慮
超低体重出生児	クラス配慮・食形態配慮
聴覚障害	人工内耳・補聴器・視覚的支援
パリスターキリアン症候群	歩行器・バギー使用・食形態配慮
橋小脳低形成症7型	歩行器・バギー使用・食形態配慮
リンパ管腫	医療的ケア（痰吸引）
水頭症	食形態配慮・マグネット系遊具の配慮
フェニルケトン尿症	たんぱく質除去食対応（栄養士）
左心低形成症候群	医療的ケア（酸素投与） ・歩行フォロー・食形態配慮
二分脊椎症	医療的ケア（導尿）
歌舞伎症候群	食形態配慮
コフィン・シリス症候群	食形態配慮

受入れにあたり苦労・工夫したこと

- 安心安全な場所での過ごし

- * 0歳児クラスでの受入れ



医療的ケア児や重度のお子さんが増え、0歳児の受入れ困難



- 重度障がい児クラス（名称：ことりクラス）開設（2020年4月～2023年3月）

- * 看護師の確保（人数と早番、遅番担う）

- * 児童発達支援センター職員と一緒にクラス運営

- * 空間の工夫



看護師の配置困難

医療的ケア児を守る空間に…



- 医療的ケア児の利用時間を9時～16時へ（2021年4月～現在）

- 子ども同士の関わり

- * 誰もが安心できる楽しい空間へ

医療的ケア児及び重度障がい児クラスの室内



受入れにあたり苦労・工夫したこと



ことりクラス在籍児が減った



○ことりクラス解体、保育室の中に安心基地を作る

- * 受入れの環境作り（日当たり、医療器具の配置、たまり場）

- * 看護師の役割の幅の広がり

- * 同じ年齢層の子どもたちとの関わり

医療的ケア児受入れにあたり今後の課題

- 保護者のニーズ（就労時間）に対応した職員配置
 - * 第三号喀痰等吸引研修修了者の医療的ケア実施
 - * 看護師の配置
- 意識作り
 - * 保育士の思い
 - * 保育士、看護師役割の共有
- 備品の整備（ベッドや避難グッズなど）
 - * 行政からのサポート必要

<地域の課題>

- 看護師の育成

様々な個性のある子ども同士関わりながらお互いの理解を深め、それぞれ子どもの発達に合わせた保育環境の中で関わり合って過ごす場を作っています。

障がいのあるなしに関わらず、一緒に過ごす中でどの子にとってもいつでも安心して
きる場であり、自分らしくいられるということが 大切なんだ ということを子ども
たちの姿が教えてくれています。

障がいがあってもなくても
一緒にいることで みんなが 笑顔になるよ～

